

世界を震撼させた鬼オベリヤ「コーウィッツ」、
あの傑作「どん底」が
築地小劇場開場100周年の今年、
私たちの目の前で再び衝撃を開始した！



演出美術=インベニエンス・カンパニー・カウティング・カンパニー
監修=岩間出監

演出美術=インベニエンス・カンパニー・カウティング・カンパニー

8月31日(土) 9月10日(日) 2024年
シアター・ドラマシティ 新築開演

豊泉由樹緒 能登剛 南保大樹 奥山浩 星野真広 原野真之
小泉隆弘 光藤妙子 小池友理香 東さわ子 中花子 古山華雪 宇坂ひなの
津田真澄(青年座) 島英臣(俳優座) 石田登星(演劇集団円)
橘憲一郎(フリー) 藤本稜木(フリー) 常深伶(フリー)
D・ナグレジノフ(ユーゴザバト劇場) S・ボロジノフ(ユーゴザバト劇場)

劇団東演公演 No.168

どん底

劇団東演公演 No.168

どん底

吹

き溜まりのような地下の安宿。そこには行き場のない人間たちがうごめいている。男爵と呼ばれる男、イカサマ賭博師のサーチン、アル中の役者、帽子屋ブブーフ、小説の恋物語に陶酔しきっている娼婦のナースチャ、敵意むき出しのクレイチ、病弱で今にも死にそうなる妻アンナ、この木賃宿の主人コストウリヨフ、その妻ワシリサといい仲になっているコソ泥ペーペル。今日も住人達と宿の主人とのひと悶着が始まった……そんな所へ新入りの巡礼ルカをワシリサの妹ナターシャが案内して来るが、これでまたひと騒動が……。人間丸出しの住人たちはなんの遠慮もなしにぶつかり、飲んだくれ、罵りあうのだが、巡礼はそんな彼らに人生の希望を語り、慰め、生きることを説いて回る……。ここからはい出したいと思いつつ、果たして彼らの行く末は！の声に聞こえてくるのだが……

作 M・ゴーリキー 翻訳 佐藤史郎

演出・美術 V・ベリヤコヴィツチ、O・レウシン

照明 鵜飼守 音響 A・ロフホフ 衣裳 A・プーシキン 舞台監督 相川聡 制作 横川功



能登剛

奥山浩

原野寛之

光藤妙子

東さわ子

古山華誉

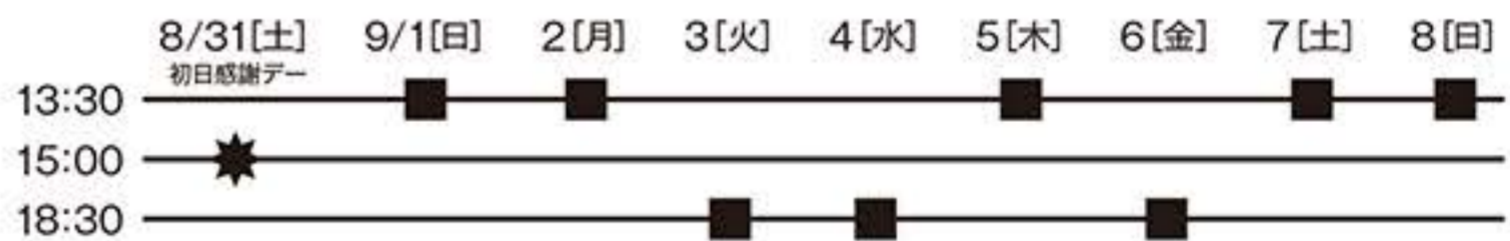
津田真澄

島英臣

藤本稜太

ユーゴザバト劇場 D・ナグレジノフ

8月31日[土] ~ 9月8日[日] 2024年



開場は開演の30分前、チケットお渡し、当日券は1時間前より

チケット料金 [全席指定]

一般 6,000円 U25 (25才以下/要年齢確認) 2,500円

👨👩👧👦 チケット (3名様グループに1名様ご招待) 18,000円

★印=初日感謝デーは一般5,500円 ※U25、👨👩👧👦 チケットは劇団でのみ発売 ※未就学児は入場不可

チケット取扱い 前売開始 7月8日[月]

劇団東演 03-3419-2871 info@t-toen.com
〒155-0033 東京都世田谷区代田1-30-13

東演チケットセンター
劇団HP <https://t-toen.com> よりWEB申込可能

世田谷パブリックシアターチケットセンター
03-5432-1515 (窓口・電話 10:00~19:00)
<https://setagaya-pt.jp/> ※発売初日は電話・オンラインのみ受付

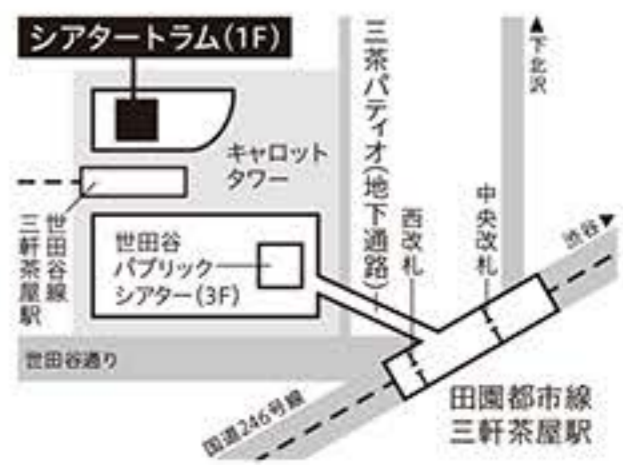
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (「どん底」で検索)
ローソンチケット Lコード32358 (10:00~20:00)
0570-084-0003 演劇専用 0570-000-407

車いすスペースのご案内 (定員有・要予約)
劇場チケットセンター 03-5432-1515

※お申し込みはご希望日の前日19:00まで

サポート

三軒茶屋駅より直結
[東急田園都市線(渋谷駅より2駅・5分)/世田谷線]
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1526



築地小劇場開場100周年 ○「築地小劇場」は、一九二四年六月、小山内薫土方与志を中心に、土方の私財により日本初の新劇のための劇場が東京築地に建設されました。しかし、一九四五年三月の下町大空襲により焼失、今年が開場100周年にあたります。劇場と劇団が一体となったまに近代演劇の幕開けとなり、治安維持法や戦争などにより結社・表現の自由は圧迫されるなか、新劇第二世代は時代と闘いながら活動、そこに集まった若き俳優やスタッフたちが後に新劇の中核となり戦後多くの劇団を結成、現在に繋がっているのです。「どん底」の日本初演は一九二〇年、自由劇場公演「夜の宿」(小山内薫演出)として上演されました。そして築地小劇場では小山内薫演出で一九二四年十月に上演。それ以降十数回再演を重ねる。